

事務事業 No./名称	■サービス部門 □支援部門				防災-01 総合防災事業			タイムスコード及び個別事業名		
	総合防災課				関連課			855	運営事業	
主管課	総合防災課				関連課			856	総合防災推進事業	
分野名	地域安全						857	防災対策整備事業		
目標 (目標値)	安全で快適な生活が送れるまち 災害に強い安心して暮らせるまちをめざします						908	防災対策整備事業		
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考						
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯							
運営資源 状況	決算値	122,959千円	60,414千円							
	(国・県)	49,366千円	24,177千円				指標と評価			
	(負担金等)	208千円	544千円				指標	防災行政用無線子局 (設置目標数)		
	(一般財源)	73,385千円	35,693千円				評価	○		
	人員配置数	4.5人	5.5人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	42,655千円	52,045千円				目標値			
	協働の パートナー	鎌倉市自主防災組織連 合会	鎌倉市自主防災組織連 合会				実績値			
事務事業 運営経費	総事業費	165,614千円	122,459千円				20年度	100%	89.60%	
	市民1人当 りの経費	937円	637円				21年度	100%	93.80%	
	対象者1人 当りの経費						22年度	100%		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						23年度	100%		
							最終年度 (年度)	100%		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 災害時における市民への情報提供は複数のチャンネルを整備。 (2) 自然災害、武力攻撃以外の緊急事態に対処するための計画を作成。 (3) 各種災害から地域住民の生命・財産を守るため、総合的な防災対策の推進と防災態勢の強化。								
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 災害時における市民への情報提供として、防災行政用無線の子局を増設し難聴地域の改善に 努めた。また、防災安全情報メール配信の登録件数の増加を図った。 (2) 新型インフルエンザの流行に備えるため、本市の行動計画(総論編、各論編、資料編)を作成し、市と しての今後の方向性を確立した。								
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 複雑多様化する現代の各種災害に対する都市防災の推進が求められているため、総合的な防災 対策の推進と防災体制の強化を図ることが求められている。								
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 災害時における市民への情報提供手段の多様化と、複雑多様化する災害に対してのマニュアル化 を進める。								
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了										
評価結果	改善の必要性	防災対策について、引き続き地域防災 計画に基づき防災拠点整備、情報システ ムの構築を進め、災害から市民の生命・ 財産を守るための施策を充実・拡大させ る必要がある。			評価結果	改善の必要性	災害時に市民の生命・財産を守り、被 害を最小限に留める体制の整備を図る とともに、情報の収集・提供手段の構築 を進め、迅速かつ的確な判断・行動がと れる環境の充実を図る必要がある。			
A	無				A	無				
課長名		総合防災課長 郷原 一己			部名・部長名		防災安全部長 酒川 学			